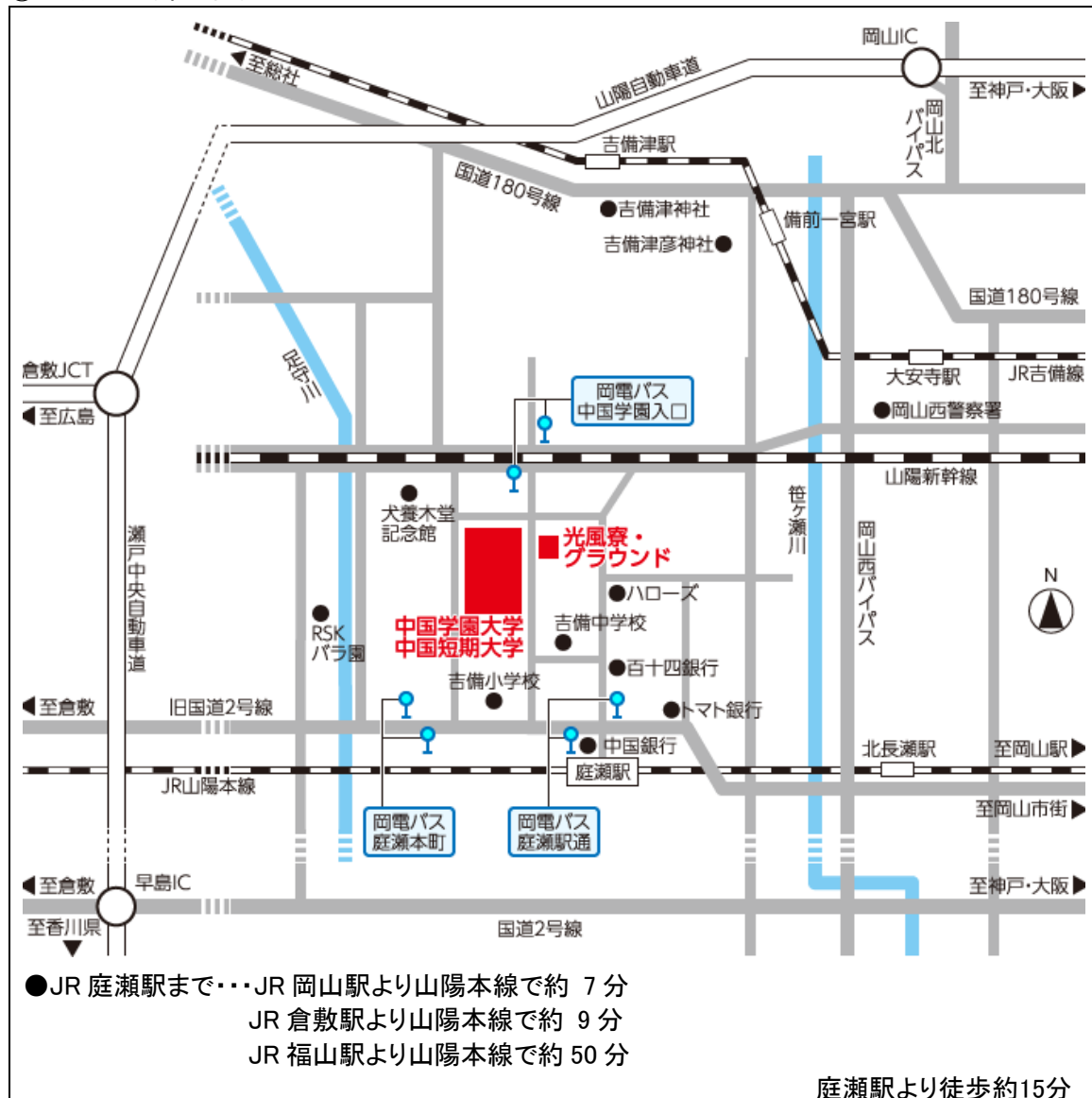


(14) 中国学園大学

① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	前期	2022年4月11日	～	2022年8月1日
	後期	2022年9月26日	～	2023年1月27日
試験期間	前期	2022年8月2日	～	2022年8月8日
	後期	2023年1月30日	～	2023年2月7日
授業時間	1限	9:20	～	10:50
	2限	11:00	～	12:30
	3限	13:10	～	14:40
	4限	14:50	～	16:20
	5限	16:30	～	18:00

② アクセス(案内図)



③ 担当窓口

教務課	
所在地:	本館 2階 事務局 教務課
電話:	086-293-0542

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・ 履修申込期限

本学では、申込期限は前期:4月5日(火)まで、後期:9月21日(水)までとします。
ただし、所属大学によって、提出期間が別に定められている場合は、その指示に従ってください。

・ 履修手続

所属大学の窓口にて所定の期間内に単位互換履修願(写真添付)を提出してください。

対面授業科目を履修する方

初回授業で来学の際に以下の印刷物等を配付します。また、講義室の場所等の説明も行いますので、初回は時間の余裕を持って教務課窓口まで来てください。

- ① 学生便覧
- ② 授業時間割表
- ③ シラバス(該当科目)
- ④ 学生証(単位互換履修生証)
- ⑤ 図書館案内

・ 施設利用

中国学園大学在学の学生と同じ扱いとします。図書館・学食等が利用可能です。
図書館の利用方法は、図書館カウンターで、単位互換履修生証と所属大学の学生証を提示してお尋ねください。

・ 特記事項

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<http://syllabus-cjc.jp/koukai/>

(中国学園大学・中国短期大学HP→Web シラバス→シラバス検索)

・対面授業科目

対面授業			14001
授業科目名:生物学		担当教員氏名: 田中 徹也	
Biology			
1～4年次	2単位	後期	1コマ
<p>【授業の目的】 生命は生物そのものである。生命(生物)を探求する学問(生命科学)の一部が生物学である。大学を卒業したものが備えておくべき(学士力)幅広い教養の一部としての生物学の講義であるが、高校卒業までに習得しておくべき基礎生物学の復習的な内容も広くカバーする。講義のアウトラインは参考書に従うが、独自に作成した配布資料をもとに行う(基本的に板書はしないので、講義で話す必要部分を配布資料に書き加えていくこと)。</p> <p>【到達目標】 栄養学に直結する生物学のごく一部ではなく、生命のミクロな領域からマクロな領域までの幅広い生物学の全容が理解できる。 生命科学の発展してきた経緯が理解でき、既知の事実から未知の事実を発見・証明していく経緯が説明できる。 なお、本科目はディプロマポリシーに掲げた学士力の内容のうち、〈知識・理解〉の修得に貢献する。</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生命とは何か 2 細胞の発見と細胞の構造・機能 3 単細胞・多細胞・組織から個体としての生命 4 代謝とエネルギー産生に関わる物質 5 代謝とエネルギー産生に関わる反応系 6 遺伝の歴史と各種遺伝 7 遺伝子の発現 8 生殖 9 発生 10 生体環境の維持(循環器系・呼吸器系・消化器系) 11 生体環境の維持(神経系・免疫系・内分泌系) 12 生態系とニッチ(異種間の関わり合い) 13 気候とバイオーム, 生態系のバランスと生命多様性 14 生命の起源と進化 15 種分化と系統分類 <p>【テキスト】</p> <p>【参考図書】 『視覚でとらえるフォトサイエンス生物図録』, 数研出版編集部 編, 数研出版</p> <p>【成績評価の方法】下記の成績を基準に評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組みの姿勢・態度(5%):意欲的な授業態度, 予・復習の状況によって評価する。 ・小テスト(5%):各回の主要なポイントの理解を評価する。 ・定期試験(90%):最終的な理解度を評価する。 <p>基本的に参考書や配布資料も含めて、紙媒体は全て持ち込み可で定期試験を行うため、定期試験の成績が評価のほぼ全てとなるが、出欠と授業態度も若干加味して最終評価する。</p>			

対面授業			14002		
授業科目名:異文化コミュニケーション論			担当教員氏名: 佐生 武彦		
Cross-cultural Communication					
1～4年次	2単位	後期	1コマ		
<p>【授業の概要】 「文化」及び「コミュニケーション」という2つの言葉を、私たちは日常生活においてほとんどその意味を吟味しないまま口にすることが多い。理由は、両者ともに深く考える対象としては、あまりにも私たちの身近にあり過ぎるためであろう。この講義では、「文化」や「コミュニケーション」など一連の諸概念を詳しく考察すると共に、日本人が多用するコミュニケーション型と諸外国で用いられるコミュニケーション型を比較検討し、これらコミュニケーション型の違いから生じる諸問題とその解決方法について学習する。</p> <p>【到達目標】 『異文化を理解する』とはどういうことか、また「日本人のコミュニケーション行為の諸特徴とは何か」等の設問に答えることが出来るようになること。なお、本科目はディプロマポリシーに掲げた学士力の内容のうち、〈知識・理解〉、〈思考・問題解決能力〉、〈技能〉、〈態度〉の修得に貢献する。</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 なぜ異文化コミュニケーション論を学ぶのか？ 2 「文化」とは何か① 3 「文化」とは何か②:「文化」vs「文明」 4 「文化」とは何か③:Melfordo E. Spiro の文化観 5 ことばと文化 6 コミュニケーションとは何か:知覚・意味・解釈 7 日本人のコミュニケーション①:コミュニケーションの動因と志向性 8 日本人のコミュニケーション②:コミュニケーションの基本型 8 9 文化・情報・コミュニケーション 10 トランプ遊びによる「擬似異文化体験」 11 文化相対主義の批判的考察① 12 文化相対主義の批判的考察② 13 英語コミュニケーション①:「英語支配」を考える 14 英語コミュニケーション②:認識と実践 15 全体のまとめ <p>【テキスト】</p> <p>【参考図書】 『異文化コミュニケーションキーワード』, 石井敏他著, 有斐閣</p> <p>【成績評価の方法】下記の成績を基準に評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組みの姿勢・態度(20%):毎授業ごとにフィードバック・カードを提出させる。 取り組みへの評価は、その内容を吟味して判断する。 ・レポート(30%):与えられた課題に関して自分の考えを具体的に述べていること。 授業の中で、クラス全体にフィードバックを行う。 ・定期試験(50%):最終的な理解度を評価する。 					

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

* 学生は太枠内のみ記入

中国学園大学長 殿

提出日	令和	年	月	日
ふりがな 氏名				印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等					
学部・学科・学年	学部 年			学科	
学生番号	性別 男・女	生年 月日	西暦 年		
			昭和・平成 年 月 日		
現住所	〒 — Tel () —				

* 履修受付締切日：前期：4月5日(火)まで 後期：9月21日(水)まで

* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
対面授業科目										
14001	生物学	教養	田中 徹也	2	後期	1~4	定員 10 名	木 14:50~16:20	<input type="checkbox"/>	
14002	異文化コミュニケーション論	専門	佐生 武彦	2	後期	1~4	定員 10 名	金 16:30~18:00	<input type="checkbox"/>	

写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	単位互換科目 履修願用(本紙)	身分証明書用	学生原簿用	計
	1 枚	1 枚	0 枚	2 枚